

国際理解教育推進校 考え方とこの3カ月の取組 校長 鈴木富樹

もうすぐ夏休みが始まります。ぜひ、充実した日々を過ごせますよう、家庭でもご指導をお願いいたします。

さて、本校は生徒の資質や能力向上を図るために、学習指導要領の考えの下、国際理解教育を実施しています。今年、「学校として行う"内なる国際化"への取組」を研究テーマに、アンガーマネジメントと防災教育を中心に取り組んでいます。

4月から3ヶ月半の教育活動を通して、保護者の皆様に、改めてその考え方や取組みを説明いたします。



本校は、次の三つの視点で国際理解教育を進めています。

第一の視点は、英語教育重点校として、ALTを多様に活用し、また英語力の基礎である国語力向上を図りながら、「自分の考えや意見を自ら発信し、具体的に行動することのできる態度・能力」を育てることです。例えば、国語科を中心に各教科では、自分の考えを発表したり、書いたり、話し合ったりする活動に力を入れています。また、英語については、Sports Dayでのチャンツを入れた応援合戦、ミクロネシア交流会での学級各班に二人の外国人が入ったの交流、1年生 Yamanaka Campでの英語劇の発表、3年生修学旅行での班に2人の留学生との交流などは、その例です。

第二の視点は、「異文化やそれをもつ人々を受容し、共生することのできる態度・能力」を育てることです。例えば、ミクロネシア交流会での給食交流や文化発表、2年生ユニセフハウスでの「世界の子供たちについて」の学習、3年生修学旅行での立命館大学留学生13カ国の人たちとの関わり、1、2年生で行ってき



たアンガーマネジメントも一例です。

第三の視点は、「自国の伝統・文化に根ざした自己の確立」を図ることです。Sports Dayでの伝統的な競技や応援合戦、1年生がミクロネシア交流会で発表した東京音頭、渋谷音頭（渋谷区婦人連絡協議会の3度に亘るご指導）、1年生 Yamanaka Campでのハイキングや体験学習、2年生国立劇場での歌舞伎鑑賞教室や上野博物館の見学、3年生修学旅行の奈良（卒業生がガイドの班もありました）・京都での古寺や文化財見学も、その一例です。



このように、夏休み前までに各教科や行事等を通して、それぞれの視点にそった国際理解教育を行ってきました。

ぜひ、9月以降の活動に、国際理解教育を意識した取組みがあることを理解していただき、見学や参観をしていただければ幸いです。また、国際交流室をつくったのも、このような視点からですので、ご覧いただければ幸いです。



お知らせ

- 8月28日(火) フォトリ-水泳大会
- 8月30日(木) 授業・給食再開
- 9月11日(火)～13日(木) 前期期末考査
- 9月15日(土) 授業公開・学校説明会

* 暑中お見舞い

申し上げます



* ご迷惑をおかけします

耐震工事・理科室設置工事

(7月から9月まで)



